

2023年8月10日

報道各位

一般社団法人東京ビエンナーレ事務局

東京ビエンナーレ2023注目プロジェクトのひとつ

**【8/19(土)20(日)12時～17時】東京ビエンナーレ2023注目プロジェクト
「超分別ゴミ箱2023」ワークショップ「プラスチックの種類をしろろ」・
「プラ博士にきいてみよう」を開催**

東京ビエンナーレは、東京のまちを舞台に2年に1度開催する国際芸術祭です。世界中から幅広い分野のアーティストやクリエイターが集結し、まちや人々の営みに深く入り込み、地域住民の方々と一緒に作り上げる芸術祭として始動しました。 <https://tokyobiennale.jp/>

第2回となる東京ビエンナーレ2023のテーマは、「リンケージ つながりをつくる」。その注目プロジェクトのひとつ、《超分別ゴミ箱2023》では、1980年代よりメディア・アーティストとして世界的に活躍する藤幡正樹が「日常的なゴミの分別を極端に推し進めたらどうなるのだろうか」という疑問を社会に投げかけます。

本プロジェクトでは、再使用・再生利用に関する課題が多いプラスチックという素材に焦点を絞り、「ラブ＝プラスチック」という標語のもとに、藤幡正樹らコア・メンバーと、東京都立工芸高等学校の在校生とそのご家族、アーティスト、パートナー企業・協力企業*等を中心とする参加者が、ワークショップや展示という形態での交流と表現活動を行います。

来る8月19日(土)20日(日)の12時から13時には、コミュニケーションの場づくりの専門家である苅宿俊文さん(青山学院大学社会情報学部プロジェクト教授)をお招きし、プラスチックの種類を学んでもらった子どもたちに「プラ博士認定証」を授与するキッズプログラムを実施。15時から、プラスチック博士の林光邦さん(株式会社テクノラボ代表取締役)に、その豊富なプラスチックの知識を聞き出し、気になる海洋プラスチック問題などについて伺う「プラ博士にきいてみよう」ワークショップを行います。

キッズプログラム申し込みは、下記リンクよりお願いいたします。

[『プラスチックを五感を使って科学しよう!』参加申込フォーム](#)

一般見学申し込みは、下記リンクよりお願いいたします。

[「超分別ゴミ箱」8/19-20"ラブ＝プラスチックWS"一般参加申し込みフォーム](#)

ご取材申し込みは、下記リンクよりお願いいたします。

[8月19日\(土\)20日\(日\)12時～17時《超分別ゴミ箱2023》WS取材申し込みフォーム](#)

◆東京ビエンナーレ2023《超分別ゴミ箱2023》

日時:2023年8月19日(土)20日(日)12時~17時(メディア受付は11時開始)

場所:東京都立工芸高等学校(〒113-0033 東京都文京区本郷1丁目3-9)

参加者:キッズプログラムは小学生から高校生まで対象(定員10名程度)。ほか、東京都立工芸高等学校の在校生と保護者、アーティスト、パートナー企業・協力企業*等のみなさまが参加します。

参考:超分別ゴミ箱+ラブ=プラスチックワークショップサイト
<https://sites.google.com/view/ssgbpj>

参考:東京ビエンナーレ2023《超分別ゴミ箱》WEBサイト
<https://tokyobiennale.jp/tb2023/linkage/super-sorted-garbage-bins-2023/?lang=ja>

◆藤幡正樹プロフィール:

藤幡正樹 Masaki Fujihata(ディレクター)

アーティスト。80年代からメディア・アートの先駆者として活動。1996年には、日本人として初めてアルス・エレクトロニカ・ゴールデン・ニカ賞を受賞するなど、受賞多数。1989年より慶應義塾大学、1998年からは東京藝術大学で教鞭をとり、2005年同大学大学院映像研究科の設立に貢献。現在東京藝術大学名誉教授。

2017年には、オーストリア、リンツ芸術大学客員教授、2018年には香港バプティスト大学客員教授、同時に歴史について考えるARプロジェクト「BeHere HK」を実現。2020年には、UCLA・リージェントプロフェッサーとして滞在後に、日系人の強制収容をテーマとした「BeHere / 1942」展を実現(柳井イニシアティブと全米日系博物館[JANM]との共催)。

近年は、テクノロジーやメディアそのものをテーマとしたいわゆるメディアアート作品から、より公共性の高いプロジェクトが増えている。

◆撮影について:ワークショップの冒頭で、撮影を希望しない人の確認をお取りしますので、恐れ入りますが対象者が映り込まないようにご配慮をお願いいたします。

◆パートナー企業・協力企業*:

【パートナー企業】

アサヒグループホールディングス株式会社
株式会社セブン&アイ・ホールディングス
東洋製罐グループホールディングス株式会社
大日本印刷株式会社
凸版印刷株式会社
株式会社ファミリーマート
株式会社ローソン

【協力】

株式会社テクノラボ
株式会社リコー

■超分別ゴミ箱とは...

慶應義塾大学SFC藤幡正樹研究室で、1995年にゴミの分別を極端に推し進め98種に分類する《超分別ゴミ箱》を制作し、学内や江ノ島海岸で展示した。「ゴミの可視化」を通してゴミの多様さを知り、ゴミを過剰に分別するとそれは「情報」になるということを知らしめた名作を、東京ビエンナーレ2023では特に今その分別と再使用・再生利用の重要性が高まる「プラスチック」素材に着目し、藤幡正樹らコア・メンバーと、東京都立工芸高等学校の学生とご家族、パートナー企業等を中心とする参加者が、ワークショップや展示という形態での交流と表現活動を行う。

■《超分別ゴミ箱2023》今後の予定

- ・夏休み期間 オンライン・オフラインによる参加者交流
- ・8月19日(土)、20日(日)ワークショップ開催@東京都立工芸高等学校
- ・9月下旬 作品成果物の展示、東京ビエンナーレ2023会場への設置搬入作業

■お問い合わせ:

一般社団法人東京ビエンナーレ
TEL:03-5816-3220 FAX:03-5816-3221
MAIL:info@tokyobiennale.jp

■現地お問い合わせ:岩本 090-1206-0853 si@tokyobiennale.jp

以上